

地域づくりから災害支援を考えるシンポジウム

参加無料

平成30年7月豪雨災害

# その時、岐阜で 何が起きた！

**日時** 平成31年**2月24**日(日)10:00~16:00

**会場** OKB ふれあい会館 第1棟3階 大会議室  
〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-53 TEL:058-277-1111

**対象** 社協・NPO・行政・自治会・企業・一般等

近年、全国各地にて自然災害が頻発しており、「平成30年7月豪雨」では岐阜県内各地で甚大な被害となりました。

今回の被災から、改めて見えてきたのが「日頃からの取り組みやつながり」でした。

自助として、普段からどのような取り組みをしていけばよいのか。

共助として、普段からどのようなつながりを作っていけばよいのか。

「災害にも強い地域づくり」のために、今、何ができるのかを、関市で起こった災害を紐解きながら社協、NPO、行政、自治会など、様々なセクターと共に考えていきます。

## プログラム

- ◆基調講演 「災害時にも生きる、普段のことを考える」10:10~11:00  
講師：高山 弘毅 氏 (Nukiito代表)
- ◆パネルディスカッション 「その時、関で何が起きた！」11:00~12:00  
登壇者：山田 仁司 氏 (関市社会福祉協議会) 浦野 愛 氏 (NPO法人レスキューストックヤード)  
コーディネーター：高山 弘毅 氏 (Nukiito代表)
- ◆セッション1 「改めて考えるNPOにできるコト」13:00~14:20  
登壇者：杉浦 陽之助 氏 (NPO法人コミュニティサポートスクエア) 野村 典博 氏 (NPO法人ぎふNPOセンター)  
コーディネーター：永井 美佳 氏 (社会福祉法人大阪ボランティア協会)
- ◆セッション2 「改めて考える被災者を支えるヒト(組織)」14:30~15:50  
登壇者：田口 博史 氏 (岐阜県地域福祉課) 齊藤 浩昭 氏 (岐阜県社会福祉協議会)  
コーディネーター：園崎 秀治 氏 (JVOADシニアコンサルタント/全国社会福祉協議会)

主催 岐阜県社会福祉協議会 ぎふNPO・生涯学習プラザ(委託:県・運営:NPO法人ぎふNPOセンター)

定員 150名(申し込み先着順)

申込み 裏面の申し込み用紙をFAXしていただくか、E-mailに必要事項を記入し送信してください。

## 基調講演 「災害時にも生きる、普段のことを考える」

講師：<sup>たかやま ひろき</sup>高山 弘毅 氏 (Nukiito代表)

各地の被災地の事例を基に、関市で行われた「コミュニティマッチング」の機能を考察することで、「平時からの災害にも強い地域づくり」の視点から、それぞれのセクターの役割について考えます。

1976年生まれ。大学卒業後、イッセイミヤケグループなどファッション業界での仕事を経験後、弟が労災により視覚に障がいを持ったことから福祉の世界に興味を持つ。2004年に粕川村社会福祉協議会に入職後、同年合併により前橋市社会福祉協議会職員に。ボランティアコーディネーター、市民活動団体との協働や災害ボランティア活動支援、共同募金等を担当。「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援P)」による派遣等を通じ、各地の災害ボラセンの運営支援を経験。

2017年に退職しNukiito(緯糸、織物織物の横糸)を設立。異なる地域、年代、専門性の人々を「より佳く暮らすこと」を価値につなぐ実践活動に取り組む。



## パネルディスカッション 「その時、関で何が起きた!」

登壇者：<sup>やまだ ひとし</sup>山田 仁司 氏 (関市社会福祉協議会) <sup>うらの あい</sup>浦野 愛 氏 (NPO法人レスキューストックヤード)

コーディネーター：<sup>たかやま ひろき</sup>高山 弘毅 氏 (Nukiito代表)

7月の豪雨災害で、関市で何が起こったのか。当時の様子を踏まえながら、関市社協における被災者支援活動の取り組みや、自治会、民生委員、NPO等との連携について明らかにしていきます。

## セッション1 「改めて考えるNPOにできるコト」

登壇者

<sup>すぎうら ようのすけ</sup>杉浦 陽之助 氏 (NPO法人コミュニティサポートスクエア)

<sup>のむら のりひろ</sup>野村 典博 氏 (NPO法人ぎふNPOセンター)

コーディネーター

<sup>ながい みか</sup>永井 美佳 氏

(社会福祉法人大阪ボランティア協会)

NPOとして災害時にどんな事が出来るのか、またそのために平時からどのような取り組みが出来るのか。関市での災害支援活動を踏まえてNPOの立場から考えます。

## セッション2 「改めて考える被災者を支えるヒト(組織)」

登壇者

<sup>たくち ひろし</sup>田口 博史 氏 (岐阜県地域福祉課)

<sup>さいとう ひろあき</sup>斉藤 浩昭 氏 (岐阜県社会福祉協議会)

コーディネーター

<sup>そのざき しゅうじ</sup>園崎 秀治 氏

(JVOADシニアコンサルタント/全国社会福祉協議会)

関市災害ボランティアセンターにおいて、どのような事が課題となり、その課題について社協や行政としてどういった方針を立て、今後どのように取り組んでいくのか、参加者と共に共有します。

## 参加申込み FAX、メール、フォームでお申し込みください

【申込及び問合せ先】

ぎふNPO・生涯学習プラザ 担当 籠橋

TEL:058-372-8501 FAX:058-372-8502

E-mail: [gifu-npo-plaza@gifu.email.ne.jp](mailto:gifu-npo-plaza@gifu.email.ne.jp)

- ※FAXは下記フォームにご記入の上、お申し込みください。
- ※E-mailは件名を「シンポジウム申込み」とし、参加者氏名、所属、電話番号、メールアドレスを記入の上、送信してください。
- ※下記QRコードより申し込みフォームでもお申し込みができます。
- ※定員になり次第、締め切らせていただきますので、ご了承下さい。
- ※気象状況などにより、やむを得ず中止となる場合は、ぎふNPO/生涯学習プラザのHP及び、岐阜県社会福祉協議会のHPにてお知らせいたしますので、ご確認下さい。

## OKBふれあい会館へのアクセス、駐車場



JR岐阜駅(北口)より、岐阜バス加納島線「OKBふれあい会館行き」で終点下車。所要時間約20分。

JR西岐阜駅より「西ぎふくるくるバス」約12分。

お車で越しの方はOKBふれあい会館無料駐車場をご利用下さい。

## 「地域づくりから災害支援を考えるシンポジウム」FAX申込書

参加者氏名	所属	電話番号	メールアドレス

※ご記入いただいた個人情報は適正に管理し、本企画運営上の連絡のみに使用させていただきます。  
※ネットによる申し込みフォームを利用される場合は、右記のQRコードよりフォームを開いてください。

ぎふNPO・生涯学習プラザ 担当:籠橋(かごはし) FAX:058-372-8502

申込締め切り 平成31年2月22日(金)※定員になり次第、締め切りとなります。

